



学校便り

きらきら天妃っ子



那覇市立天妃小学校

2月号② 令和7年2月25日
校長 平良 その子

先日の授業参観には、お忙しい中にもかかわらず、多くの保護者の皆様に、お越しいただき感謝申し上げます。子供達への励ましのお声かけ等もありがとうございました。

さて、今年度の学校生活も残り15日となりました。学校では、新年度への繋ぎとして、「委員会引継ぎ式(5,6年)」や「お招き会(こども園、1年生)」の行事を実施したり、修了式・卒業式に向けての準備等を行ったりしているところです。子供達が新たな気持ちで進級し、さらに成長していけるよう、残された時間を大切に、職員一同、頑張って参ります。

委員会引き継ぎ式



2月10日の委員会引継ぎ式では、6年生から5年生に対する激励の言葉と委員会活動を引き継ぐ5年生の「決意の言葉」がありました。

1年間、活動を通して学校を支えてきた6年生の思いと、これから学校のリーダーとして委員会活動を行っていく5年生のやる気を感じることができた式となりました。

以下、5,6年生代表のあいさつを紹介いたします。

〈5年生へ激励の言葉〉6年代表 照屋 咲花

私は、一学期は美化・掲示委員で、二学期は給食委員でした。

美化・掲示委員会では、毎月、中央階段前の行事スライドを変えたり、掃除をしたりしました。

給食委員会では、献立の放送や給食を届けたりと大変で、いやだと思いましたが、人のため、一つ一つみんなの支えになっているので、6年生の思いを引き継いで頑張ってください。

〈決意の言葉〉5年生代表 渡嘉敷 芳郁

私は、委員会活動を楽しみにしていました。6年生が中心になって毎朝あいさつ運動をしたり、きれいな花などを植えたりして天妃小学校が過ごしやすいような工夫がされていると感じていました。ふと気付いた時にはゴミがないことなど、見えないところで6年生は努力しているんだとも感じました。そんな活動をこれから私たち5年生が取り組んでいくと思うと、「できるかな、大丈夫かな」と、不安な気持ちもありますが、反対に、やりがいも感じます。

今日から始まる委員会の引継ぎ期間で、6年生からたくさん教えてもらい、少しでも6年生のように頑張っていきたいと思います。

私たち5年生は、男女ともに仲良く支え合いができる学年です。私も大きな挑戦をした時に、みんなに支えられ勇気が出ました。5年生の皆さん、今日から天妃小のために頑張らしましょう。

お招き会



2月19日、次年度入学予定の子供達に、学校体験をさせ、小学校入学への期待を持たせる目的で、「お招き会」を行いました。

会では、1年生の子供達が司会や行事の発表などを行い、園の子供達を楽しませたり、学習の仕方を教えたりしていました。

園の子供達も学校体験を楽しむ姿が見られ、とても温かい雰囲気でお招き会を終えることができました。

天妃っ子のがんばり



○第61回全沖縄青少年読書感想文・感想画コンクール

読書感想文課題の部〈佳作〉2年 仲里 依菜 〈入選〉1年 白川 琥太郎

○第72回全琉小・中・高校図画作文書道コンクール 書道の部 〈最優秀賞〉6年 藤田 紗妃

○第32回MOA美術館児童作品展 絵画の部 〈金賞〉2年 比嘉 望貴

○第22回全沖縄暗算競技大会 小学校5,6年生の部

個人総合競技〈満点賞〉、読上暗算競〈第2位〉、フラッシュ暗算競技〈第2位〉6年 藤田 紗妃

裏面もあります

善意ある行動



2月5日の夕方、3年1組の下地 琉都さん、2年2組の富田 鈴都さん、1年1組の上江洲照平さんが、松山公園近くで転んでいたおばあさんを見かけ、近くを通りかかった大人へ携帯を渡し、救急車要請をお願いしてくれました。

心優しい3名の行動に、助けて頂いたご家族の方からお礼の連絡をいただき、とても嬉しくなりました。

困った人を見かけてすぐ行動できた3名の子供達、素晴らしいですね。

赤い羽根共同募金感謝状贈呈式

運営委員のみなさんによる「赤い羽共同募金」の活動で、24,018円の募金が集まり、1月23日には、社会福祉協議会の方より、感謝状の贈呈式がありました。

「一人でも多くの人のために役に立ちたい」という子供達の思いが詰まった募金。今後も、福祉活動を通して、他者を思う豊かな心を育てていければと思います。

ご協力いただきました保護者の皆様、大変ありがとうございました。

校内研究取り組み結果報告（校内研究児童アンケートより）

本校では、昨年度より、「主体的・対話的で深い学びに向かう児童の育成～『聞く』『伝える』活動の工夫～」をテーマに、「相手に問い返して（確認・同意・質問・反論など）意見のやりとりができる児童」を目指し、研究を進めてきました。

成果として、下記の校内研究児童アンケート結果から、「自分の考えを伝える時に、友達のと比べて話すことができますか」の項目が、他の項目と比較して一番高くなっており、学びの質の高まりが窺えます。「令和6年度沖縄県児童生徒質問紙調査結果」（学校便り12月号掲載）においても、「これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」の項目が、昨年度よりも高くなっており、2年間の研究の成果が現れていることがわかりました。

次年度も、同一テーマで研究を深め、以下の課題解決に向けて取り組んでいきます。

〈令和6年度 校内研究児童アンケート結果〉

質問事項	6月	12月	増減
1 話し合いをすることは大切だと思いますか。	96.5	97.6	+1.1
2 クラスの友だちは自分の発表を聞いてくれますか。	94.2	94.6	+0.4
3 話を聞くとき、相手の目を見て、うなずいたり、拍手をしたりしていますか。	85.4	88.2	+2.8
4 話を聞く時、友達の言ったことを確認したり質問したりしていますか。	65.7	59.8	-5.9
5 友だちの話聞いた後、自分の言葉で他の友だちや先生に伝えることができますか。	67	70	+3
6 ペアの友達に、自分の考えを伝えることはできますか。	91.2	90.6	-0.6
7 みんなの前で、自分の考えを発表することはできますか。	66.6	66.5	-0.1
8 自分の考えを伝える時に、理由をつけて話すことができますか。	72.7	73.6	+0.9
9 自分の考えを伝える時に、友だちの考えと比べて話すことができますか。	66.2	72.6	+6.4
10 話し合いをすると自分の考えが深まると思いますか。	86.6	89.5	+2.9

※数値は、「よくできる」「できる」を合わせた割合



絵本の寄贈

2月10日、まちづくり協議会会長 山内 京子 様より、人権に関する本10冊の寄贈がありました。

子供達が、本を通して、人との関わり等について、学ぶきっかけになるといいですね。

寄贈して下さった町づくり協議会の皆様、大変ありがとうございました。